

令和5年度生駒市男女共同参画審議会(第1回)

- 1 日時:令和5年4月20日(木) 午後3時から午後4時30分まで
- 2 場所:生駒市コミュニティセンター 4階402会議室
- 3 出席者:田間委員、藤次委員、緒方委員、城野委員、生駒委員、田中委員 柴田委員
(事務局)中谷市民部長、後藤人権施策課長、男女共同参画プラザ 福山所長、瀧川、真銅
- 4 議事内容
 - 1 次期計画(生駒市男女共同参画行動計画(第4次))の策定について
 - 2 その他
- 5 傍聴者:なし

事務局	ただいまから、生駒市男女共同参画審議会第1回を開催させていただきます。 開会にあたりまして、中谷市民部長からご挨拶をさせていただきます。
市民部長	(挨拶)
事務局	本日の会議につきましては、7名の出席がありますので、生駒市男女共同参画推進条例施行規則第12条第2項「審議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない」との規定により、成立していることを申し上げます。 それでは、これより案件に移りたいと思います。 以後の会議につきましては、施行規則第12条第1項「審議会の会議は、会長が議長となる」との規定により、田間会長をお願いいたします。
会長	それでは、事務局に代わって議事の進行をさせていただきます。 まず、会議の公開と議事録の公開についてですが、市の方では、原則、会議と議事録は公開とされているようです。 それでよろしいですね。 (異議なし) それでは、会議次第にしたがいまして、議事を進めます。 まず、案件「(1) 次期計画(生駒市男女共同参画行動計画(第4次))の策定」ですが、事務局から説明をお願いします。
事務局	(説明)
会長	ご説明ありがとうございました。市民意識調査から取り上げていきたいと思います。 平成25年度、平成30年度からご意見をいただければと思っております。 まず、性別のところは、2択はせず、平成30年度の人権に関する調査のように3択に合わせるのよろしいかと思いますが、どうでしょうか。
会長	(異議なし)

委員 質問です。平成 25 年に男女共同参画アンケートを実施、平成 30 年には人権のみのアンケートを実施、今回対象とするのは平成 25 年度と同じ形ということになりますか。

事務局 そうです。
第 3 次の行動計画策定の際に、基にしているのは 25 年度の調査になります。平成 16 年度の調査が第 2 次の行動計画策定時の参考になっているものです。

委員 ありがとうございます。平成 25 年度になく平成 30 年度に入っている項目として、「結婚すれば妻は夫の姓を名のるのが自然だという」選択的夫婦別姓制度に関する内容です。質問に入れたらいいと思います。
資料 1-1 の 4 ページ 15 問目平成 30 年分 LGBT についての質問ですが、平成 25 年度にはない質問で、これもどういう形が良いか議論できればと思います。
平成 25 年度の質問より後に生駒市でパートナーシップ宣誓制度ができました。そういう制度について知っていますかの質問はいかがでしょうか。

事務局 少し補足になるか分からないのですが、30 問の設問で、15 問を男女共同参画に関する質問。15 問を人権施策に関する質問とする予定です。パートナーシップ、LGBTQ の方の分野については、人権施策課の方でも検討がされ、人権施策審議会の方で検討します。こういう意見も出ていましたと伝えます。

会長 ありがとうございます。質問の項目の分量としては 30 年分ぐらいの分量になりますか。

事務局 参考になるのは平成 25 年の中の 1 ページの左側の区分が男女共同参画の 2 ページ下から 2 段目までです。
そのあたりが男女共同参画の質問になるので、この人権という 2 ページのあとから 4 ページにかけて人権施策審議会で審議される項目となります。

会長 25 年度の間 30 から 1 ページにあるわけですが、問 17※印のあたりまでは共通ですね。そのあたりからどう変えるか、活かすか、足すか減らすかという検討でよろしいわけですね。

事務局 はい。

会長 25 年度の男女共同参画の部分を確認しましょうか。性別のところとかは配偶関係事実婚を含むのは共通として、「男は仕事女は家庭」という考え方についてどうかという意識の問題、家事について、誰が担当しているか。
ライフコースの話、女性が続けるために必要な休業について、職場ではどうですかって働いている人に聞く。していない人には収入を得る職業を持ちたいかと。持ちたい人には、問題は何かと聞く。
平等な地位になっているかどうか、よく聞かれる項目ですね。それから結婚している方は DV のケースで、あった人は誰に相談したか、相談しなかった人は、どうして相談しなかったか、そのあたりもよく、他の自治体でも調査がある共通項目です。結婚していない方はデート DV を聞いている。
それから生駒市の政策にどれほど女性の意見が反映されているか、反映されていないのはなぜか。そして何が必要でしょうかということ。男女共同参画のための必要なものをずっと丸をつけてもらう。
それからどのような政策に力を入れていってほしいか、という考え方。前回の審議会

で、何かそもそも論的な話とかおっしゃっていた項目がありましたよね。

委員　　そもそも女性が働きたいと思っているのかどうか。そもそも女性に就労意欲というのがあるのかどうかというところの確認が、どうなんでしょうね。

女性が職業を持つことについてどうお考えですかというのが、あまりにもその先に行ってしまうような気がしてまして。何かそもそも論的な設問があったら、ちょっと違ってくるのかなというふうには感じました。

会長　　収入を得る職業を持ちたいと思いますかというのとは違いますか。

委員　　そもそもどうなりたいかというご自身のことが分かっているのか。

自分がどうなりたいのかというのが、そういう感覚が育ってるのかどうか。

今選択できる中のベストチョイスをしていると思うんですけども、それが本当にやりたいことかどうかというのはやっぱり、どうなのかなという気がしますね。

ただ訊き方がすごく難しいです。

女性と男性の間には、職業として女性は、辞めることを選択できるという、結婚して辞める選択ができるという、辞めるか休むかということもできると思うんですけども、そこが男性と違って来る。そもそもどういう人生を生きたいかによってそこも変わって来ると。

会長　　質問が難しいかもしれませんね。

どちらかという、インタビューを補足でする方がいいかもしれない。性別も答えてもらいながら、なかなか面白い質問だと思うのですが。

質問項目がちょっと面白いなと思ったんです。どうしたらいいのかなと思います。

委員　　女性は男性依存ができるじゃないですか。

失礼な言い方をすると、経済的に依存する。そもそも自分の人生の設計が明確になっていれば、そういうことに陥らないと思うんですよ。だからそのあたりをどう質問したらいいのかということですね。

委員　　元々主婦になりたい人もいますよね。

委員　　主婦になるのが夢という人もいますね。

委員　　その人はもう夢は叶ってます。47 ページに、働きたくない人が半分以上あるので。

委員　　奈良県は、2 極化がすごく激しい。専業主婦率と、女性の社長率が高いですよ。だから、逆に余計に訊きにくい。難しいですね。

委員　　色々な考え方がありますよね。考え方が専業主婦は仕事だ。金銭的な労働をしているという言われ方もしている。仕事と思いますかというような訊き方もあります。

委員　　充実感を感じているとかどうですか。

会長　　幸せとはまた違いますか。

委員　　違うと思います。

充実感は、自分が役に立っている、社会や家族の役に立っているみたいな感じのところから出てくるのかなど。

会 長

ありがとうございます。

面白いアイデアです。あと、委員がおっしゃってくださった家事を仕事と思うかどうかという意識調査も結構面白いです。労働と思うか、仕事と思うかで、答えが全然違ってくるような気がするので実は難しいと思うんですけど、家事評価の意識ですよ。

あんまり質問を増やせないなので、質問数としては上限がありますね。

他の委員はいかがですか。

委 員

例えば私も先に帰ったらご飯の支度もするし、早く起きて洗濯して仕事に行ったり、ただ居るときは依存しているのかなど。その辺の家族のあり方にも関係してくるのかなと思います。

場合によっては、共働きなら、これは私がやるからパートナーにこれはやってねとか何かそういう分担する家も多いですよ。そこを紐解いていったらいいのかなと思います。

それが男女共同参画の中でどういう調査、どういう方向性、行動計画の中に反映したらいいのか、整理できていません。今そういう状況です。

会 長

分担のやり方が各家庭で違うので上手くいってますかみたいな感じですかね。

何かそういうのを聞くと、妻側の不満が多い結果が出てきます。認識が夫とは違うのかなど。

委 員

問3の誰が担当されていますかという項目がありますが、理想はどうなんだろうと聞いてみてもいいと思います。

本当は働きたい。けれども、家事をしないといけないからとか、そういうギャップが見えてくると課題が見えるかと。

会 長

調査票を作るときに、現実と理想というのを丸つけてもらう、書き込んでもらえるようにすると、1 ページで答えやすい。

現実と理想のギャップが出るみたいで、一致してる人もいれば、ギャップの大きい人もいる。そのような工夫ができる調査です。

委 員

もう少し細かく分析はできませんか。この仕事をしていたらこのぐらいだとか。パート、専業主婦、フルタイムでそれぞれ違うと思います。

このアンケート結果では、現状が分からないと思います。

会 長

どれだけ場所を取れるかの問題がありますが、そのようなところも聞いて、増やしてもよいかと思います。

職業とかそういう形態はクロス表で簡単に出ると思います。誰が担当されていますかと言ったらその何%までは出てこないの、夫と私で半々の人はどうするかと。

選択肢によって違ってくるので、選択肢の作り方はどうなるかという問題です。細かく何%と書いても、データ処理できなくなるので半々かどちらかといえば、主に誰が、そのあたりが限界かなとは思いますが。

調査の結果はそういうような形で詳しく出していただいたらもっと実態がはっきり分かります。

それ以外に、女性活躍推進、デート DV など。女性支援の困ってる女性にターゲットを当てた

支援法などが成立すると思うんですけども、そちらの方はいいんですか。

事務局 確認した現時点では、県もまだ動きがないので、今後の検討になると思います。

会長 計画策定のときに、その法律が出てくるという状態になるので、何か関連するものを1つでも入れてみてはいかがですか。

前倒しで入れておくと、計画策定に入れ込んでいくという状態になりますので、事務局で検討してください。

会長 他に市民意識調査で、言っておきたいというのはございますか。

委員 (問6) 育児休業介護休業のところで、「あなたの職場は行っている」ですが、男性の育休取得について、あなた自身はどうですかというところも加えてはどうかなど。

あと利用しなかったときに、どういう障壁があって取りづらいのか理由を訊く設問があっても良いかと。市民向けではありますが、市の職員向けも項目がなかったので、設問があってもいいかなど。

会長 なぜ取れなかったかの選択肢を少し入れておくのもいいかもしれませんね。

次に、中学生アンケートのご意見いただきましょうか。

2種類のアンケート調査をいただいています。ご意見いかがですか。まず中学生は、まだ働けないので職場でというのを訊かないのかなと思ったんです。

職業教育をやっばり皆受けて、その職業人として、この悩んでいく時期にあたりますので、職場で仕事の場でという質問が、何で訊いてないのかがわからなかったですね。イメージでもいいので、やっばり自分がどういうところの職場で働いていくことになるかということを考えるのに大事な項目だと思うので、私はそれを入れてほしいなと思っていました。

次に2-1について。何とかしなさいとか、何とかだからという経験、これはどちらにもあります。

女性の役割分担意識、ライフ構想、デートDV関係ですね。久喜市で、最後にどういうのをやったらいいと思いますかという希望を訊いています。ご意見はありますか。

私は、家庭での性別役割分担について訊いてみたいです。影響がどれほどあるのかというのは気になるところです。

委員 進路選択の思考というか、例えば大学の学部であるとか就職して東京に行くかどうかなど、多分男女差はかなり大きいと思うんです。

会長 4年制大学に行きたいかどうかとか、親元から離れて自立したいと思っているかですね。

選択の中で自己規制していくか、自分の人生の進路について、いろいろ働けるような選択肢があるような気がしているか。

委員 になりたい自分になれるのが1番いいので、我慢してこれになれるという状況が駄目なわけですね。男性優位だから女性が我慢しなきゃいけない。

それを解消していくためだと私は理解してるんです。自分のやりたい自分になれるんだっていう可能性をこの年齢から考え、感じられるのかどうか。

会長 そうなのが調査できると、生駒市内の中学生たちが夢を持っているかどうかがちよっとわかってきて、面白いですよ。

委員 　　そういう意味では成田市の質問がいいと思います。

会長 　　他に何かあればどうぞ。

委員 　　DV について、できれば意識と実際に起こっていることを聞きたい。学校としては気になります。意識と実際どうかということと、出していただく方がいいのかなとは思いますが。

委員 　　デートDVについては全員が知っているんですか。

委員 　　男女共同参画プラザから出前授業で講座をしていただいています、学校差はあります。

委員 　　実際に DV とかを勉強したことがあるかどうか聞いた方がいいと思います。

会長 　　そうですね。男女共同参画に関する学習、生駒市の施策を知っているか、もお願いします。
　　続きまして、事業者調査の方に行きます。今回あまり変えずに同じものを聞いたら変化が分かるかと。あまり大幅な改変は難しいけど、直すべきところはどのようにいしましょうということですね。
　　調査項目を見ていて思ったんですけど、どのぐらい残業を誰がしているのか。働き方改革と繋がってるようなワークライフバランスの実態のところ、働く環境が悪かったら女の人には働けないという、労働環境の基礎的な部分のところでは何かデータが欲しいなと思います。

委員 　　例えばなんですが、事業所の施設環境について聞くのはいかがですか。私も年に数回保育施設へスポーツを教えに行くのですが、保育施設は、女性用のトイレしかない場合も多いんです。逆の場合もあると思うんですね。

会長 　　ご意見ありがとうございます。

事務局 　　採用の時、会社の男女比率が変わると、管理職の数のバランスも変わってくると考えています。まず入口のところから今どういうふうにお考えなのかなというのちょっと入れてみてはどうかと思います。

会長 　　建前的には採用の時に性別を考えたら駄目ですよ。
　　そのまま聞けない。直接聞いたら、みんな考えてませんと言うしかないのです。
　　応募比率もまた違う。最終的に職場での雇用、被雇用者がジェンダーバランスがより良くなるように何かしたいと思っているかどうかみたいな設問はどうでしょう。
　　聞き方が難しいです。

委員 　　応募してきた男女の比率、採用に至った男女の比率だとできますかね。

会長 　　方針や気遣い、何かそういうのが聞けるといいかもしれませんね。

委員 　　ちょっと違うんですけども、勤続年数を男女別に見るのはいかがですか。

会長 　　平均勤続年数が何年ぐらいですかと聞けますか。

あと、この事業所で育休を取らない人、誰も取らない理由は、本人が希望していないというのがすごく多くて、これって何だろうと思ってしまいます。

女性の昇進と男性の育休は、本人が希望していないことに落ちてしまうのか。

その場合、会社としてどのような対策をしているか。

代替要員の確保についてはよく分かりますが、誰も取得していないのが4分の1あり、本人が希望していない。悪循環を起こしてるとしか思えません。だからこそ突破していかないと、結局先が見えてこない。

何かそういうのが必要だと思います。

その他、パワハラやマタハラなどもありますよね。

委員 今は、パワハラ、セクシャルハラスメント対策だけじゃないと思います。

会長 そうですね。今の法律に合わせた形でハラスメントの質問を整えてもらっていいですか。

最後に、市役所の中の職員アンケートについて、いかがでしょうか。

自分の能力を発揮できているか。さっきの充実と近くなってくると思います。この場合、女性の方が、発揮できてない気がします。

役所としてどのように研修したり伸ばしたりサポートしたりするかという施策の問題があります。育休・介護休業なども。今は何%ぐらいですか、育休と男性の比率は。

事務局 パートナーの出産後の育休は過去何年かは連続して100%です。長期の育児休業も男性も取られているとは聞いています。

ただ、具体的な数字は、ちょっと手元に資料がなくて、分かりません。

会長 ありがとうございます。次回までに詳しい数字を調べてください。

あと研修も受けたことがない人が結構おられるということですね。人権の研修は必須ですか。

事務局 新規採用職員、管理職、会計年度任用職員は必須です。

会長 ありがとうございます。ぜひ、何かインセンティブを加えて、研修を受けていただけるような形にできるといいですね。

委員 たとえば、勤続年数で決めるといいのではないですか。。

会長 ありがとうございます。研修も受けたことがある人が増えるような工夫をしてください。

業務に男女共同参画の視点を持って取り組んでますかと言ったら、半分の人はこちらかといえど言ってるのは、悲しいですね。

市役所の職員アンケートで、職員に意見を聞いてみてはいかがでしょう。

男女共同参画は、関係ないと思っていても、関係あるテーマです。

やはり、自分の仕事は、男女共同参画とどう関係してるかわからないという職員さんが多いのは問題です。

調査することも大事ですが、計画策定していくときに、どういうふうに関係しているかという面がとても大事です。

事業所の場合、生駒市は何をしてくれるのか。こちらが準備しておく。このパーセントが高いのであれば、手当をしていく。その理解がなければ、啓発活動からやっていくみたいな形で

アンケート結果を使ってください。

帰られてお気づきの点があれば、事務局へ4月中にご連絡ください。

他に何かございませんか。ないようでしたら、以上をもちまして、審議を終了させていただきます。

長時間、ありがとうございました。